

河村名古屋市長の「導水路容認」表明に抗議し、徳山ダム導水路中止を求める活動を進めてきました。

号外（3月2日）発行以降の活動と今後の活動について、緊急にお知らせしなければならないことが多く、今回も号外という形でニュースを発行することにご容赦願います。

河村市長の「方針転換」という愚に抗議する 3.18 集会に、100 名の市民が参加



3月18日（木）名古屋市東別院会館において河村名古屋市長の「導水路容認」に抗議する報告・抗議集会を開催しました。各地から100名の市民が参加し会場は満員でした。報告の後、行われた討論では、市長の方針転換に疑問と怒りの意見がたくさん出されました。今後、どう抗議の声を広げていくのか行動提起も求められました。

「3.18 報告・討論集会資料」(修正版) をご覧になりたい方は、当会ホームページをご覧ください。

報告の動画は、<https://youtu.be/ESmqgULgnQw> でご覧いただけます。



岐阜新聞報道記事 (2023/3/19)

2種類の導水路リーフレットを発行しました

「導水路問題」をアピールするために、同封したようなリーフレットを2種類発行しました。

一つは名古屋市民向けに『徳山ダム導水路から今こそ撤退しましょう』です。これは名古屋市が開催する「導水路の意見交換会」(5月13日)に対応できるよう5月1日に発行しました。もう一つは、長良川中心にした『長良川に徳山ダムの水はいらない』です。これは、よみがえれ長良川実行委員会が6月11日に開催する討論集会でも議論いただけるよう5月18日に発行しました。

それぞれ3,000部発行しました。宣伝にご協力いただける方はご連絡ください。無料でお届けします。



名古屋市が導水路「意見交換会」を開催

5月13日、名古屋市中区役所ホールにおいて「意見交換会」が開催されました。これは、2月の河村市長の「導水路容認」表明の延長線上のもので、「賛成、反対の意見を聴いて」と言いながら、反対の声を聴く姿勢は見せませんでした。

一方で「堀川浄化」などの新提案を、きちんと筋立て説明する姿勢も気迫も見られません。官製河川環境団体などの大がかりな動員もなかったようで、300人定員に対して、総参加者数も約100にとどまりました。しかも参加者から「賛成」する趣旨の発言者は、僅か2名。賛成発言を組織する努力もしなかったようです。

河村氏は「新提案」を目くらましに、「容認への転換」の立場だけを市民に了解させたかったのでしょうか。彼にとっては、導水路も新提案もどうでもいいことのようにです。なぜ、彼がそうだったのか。わかりません。

しかし、結果としてこの無責任な政治家のパフォーマンスが、事業「継続」の動きに火をつけたことは明らかです。

「導水路撤退！」「徳山ダムの水はいらない！」の声を広げることが一層重要になりました。ともに頑張りましょう。（文責 武藤仁）

長良川下流域環境観察会 参加者募集中

毎年恒例の長良川下流域環境観察会を、5月28日に「よみがえれ長良川実行委員会」主催で行います。

生物多様性 COP10 を機に始まった観察会です。岐阜市のレッドリストからアユ、サツキマスが削除されるように、長良川河口堰による環境破壊・生態系の破壊の実態を隠そうという動きが強まっています。

恒例の観察会は、大変重要な取り組みになっています。

是非、ご参加ください。まだ数名分、船の席が空いています。

- ・参加費：1,500円（学生 500円）
- ・昼食は各自ご持参ください。
- ・ヨシ原に入れる服装でお願いします。
- ・集合 9:45 木曾三川公園第3駐車場
(申し込み先) 090-1284-1298 武藤



出席した河村たかし市長(左から2人目)や意見発表した学識者、市民団体代表ら=13日、名古屋市中区栄の中区役所ホール

河村たかし・名古屋市長が「容認」に転じた。徳山ダム(岐阜県揖斐川町)の水を長良川や木曾川に引く連絡導水路事業をめぐる18日、同市で意見交換会が開かれた。1000人が参加し、市民からは反対意見が相次いだ。河村市長は終了後、「意見を採り入れるが、方針変更はない」と語った。

河村市長は「水余り」を認めながら、水の安定供給や治水の推進、堀川浄化の三つを提案する中で転換したとしており、賛否が焦点だった。市が選んだ学識

徳山ダム導水路容認 河村市長「変更ない」 市民から反対の声

意見交換会

長の手ひら返しにびびく「生態系への影響を考えるべきだ」などと続いた。反対の拳手が多く、同会が「賛成の人は？」と促す場面もあった。

河村市長は、まとめて「徳山ダムを造ってよかった以上、導水路で使わないか」と話すと、会場から「税金(料金)が高くなるぞ」とヤジも飛んだ。(伊藤聖章)

者、市民団体代表の発表は、8人中6人が賛成で、「気候変動で濁水や洪水のリスクが高まった」「堀川浄化は、余っている水道水を使えばいい」「凍ら老朽化が進んだ」など、結んでいたはずの河村市

朝日新聞報道記事 (2023/5/14)

「国連生物多様性の日」に連携し、毎年行っています。

2023年 5月28日(日)
10:00~15:00(小雨決行)

長良川下流域環境観察会

参加費: 1500円(学生 500円)
昼食は各自ご持参ください。
ヨシ原に入れる服装でご参加ください。
ファミリー参加歓迎

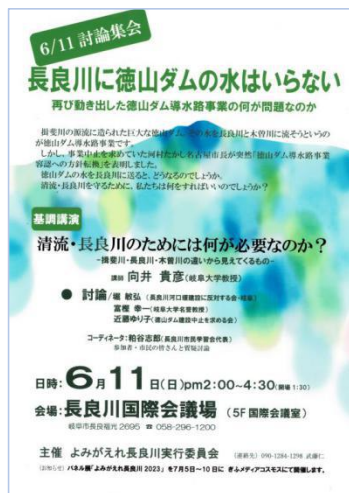
集合 9:45
木曾三川公園 第3駐車場(木曾川右岸)
* 近江大橋西交差点を左へ

* 公共交通をご利用される方はご連絡ください。
事前予約が必要です。

参加申込み-問い合わせ
よみがえれ長良川実行委員会
090-1284-1298(武藤)
muto@yoshino.org.jp

中良川河口堰は長良川下流域の生態系を破壊し、ヨシ原を消失させ、水質を悪化させています。
ヨシ原を回復させることは、水質浄化と生態系の保全にも不可欠です。

討論集会「長良川に徳山ダムの水はいらない」にご参加ください。



6月11日長良川国際会議場において、討論集会「長良川に徳山ダムの水はいらない」を開催します。

岐阜大学の向井貴彦先生に「清流・長良川のためには何が必要か?」と題して基調講演をしていただき参加者を交えて討論します。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください

パネル展「よみがえれ長良川 2023」の開催にご協力ください

期間 7月5日(水)～10日(月) (7/4 設営、7/11 撤去)

会場 メディアコスモスギャラリーにて

テーマ: 長良川の「過去・現在・未来」

・会場での企画イベント

7/9 (日) pm2:00～増田康記コンサート

・市民参加で企画する

過去: 市民のみなさんの撮った「長良川」の写真を募集しています。「サツキマスのいた川」パネル展

現在: 河口堰、レッドリスト、内ヶ谷ダム建設、国土強靱化、

未来: 長良川に徳山ダムの水はいらない、横越遊水地

岐阜県要請行動にご参加ください

長良川の環境改善を求めて、岐阜県(河川課)に要請を行います。ぜひご参加ください。

日時 6月2日(金)午前 11:00～12:00

会場 岐阜県庁 1702 会議室 * 10:45 県庁 1 階受付にご集合ください。

参加ご希望の方は、事前に武藤 090-1284-1298 までご連絡ください。

要請事項は以下の通りです。

2023 年 6 月 2 日

岐阜県知事 古田 肇 様

長良川の環境改善を求める要請書

よみがえれ長良川実行委員会 共同代表 粕谷 志郎

亀井 浩次

貴職の河川行政へのご努力に敬意を表します。

今年 2 月、河村名古屋市長の突然の「徳山ダム導水路容認」表明に関連し貴職は、「速やかに検証作業を終え、事業を進めることが望まれる」との意思表示をされました。しかし、同事業による長良川の環境悪化

への県民の危惧は払しょくされていません。「検討の場」においては県民の声を反映させ「事業中止」の立場を表明してください。

いま長良川では「国土強靱化」政策の下、大々的に河川工事が進められていますが、あまりにも環境・景観を無視したやり方に「やりすぎ」との不安と怒りの声が出ています。このままでは岐阜県の看板「清流の国ぎふ」も降ろさざるを得ないでしょう。ただちに工事の進め方を見直してください。

また、美濃市横越地区では、河川のまん中に堤防を築き「貯水池」をつくるという理解に苦しむ「遊水地」計画が進められています。地元住民は左岸堤防の破堤の不安とここに棲む貴重な生き物への影響の心配から計画に反対する声を上げています。本事業の「河川環境調査検討会」でも「しっかり検討して見直すべき」との議論があり、現場の声を反映させる検証が求められます。

長良川河口堰が閉鎖されて 28 年がたちます。河口堰は海と川を行き来する生き物の大きな障害となりました。長良川のアユは、人の手を借りなければ子孫を残せていない状況となっています。サツキマスは、昨年中央卸売市場に出たのがわずか 3 匹という驚くべき報道もあります。河口堰の速やかな開門調査を求めます。貴職は開門による農業塩害の危惧を理由に、開門調査に背を向けておられますが、4 年の開門調査を経て昨年 2 月に常時開門を始めた韓国ナクトンガン河口堰では、河口から 15 km に位置する農業取水門を念頭に入れたゲート操作をし、汽水域環境を復元しています。長良川の環境をよみがえらすために、開門調査にご尽力ください。

内ヶ谷ダム建設は工事途中で判明したダムを支える岩盤の亀裂補強（2019 年）やダム下流左岸斜面変状対策（2022 年）などで次々と工事費が増額され、当初計画の 2.8 倍にも膨れ上がっています。今後の増額も心配です。もともと費用対効果に疑問のある事業です。不要不急の内ヶ谷ダム建設事業はいったん中止し再検討すべきです。

以上のことを踏まえ、下記の要請に応じて頂くようお願いいたします。

記

1. 徳山ダム導水路事業を即時中止するよう「検討の場」において求めてください。
2. 住民の意見を置き去りにした横越「遊水地」計画の強行はしないでください。
3. 「国土強靱化」の名のもとに、生物多様性保全を蔑ろにし、環境・景観に無配慮の河川工事は止めてください。
4. 長良川河口堰の開門調査の実施に向けた検討を行ってください。
5. 内ヶ谷ダム事業を再検討してください。

発行：長良川市民学習会 <http://dousui.org/>

代表：粕谷志郎

連絡先：武藤 仁／090-1284-1298
〒500-8211 岐阜市日野東 7-11-1
mutohitoshi@yahoo.co.jp



私たちの活動は皆様のカンパで成り立っています。
賛同してくださる方は、ぜひカンパをお願いします。

ゆうちょ銀行口座：00840-3-158403
口座名称：長良川市民学習会

本ニュースのバックナンバーは <http://dousui.org/news/index.html> でご覧になれます。